

長岡中央総合病院

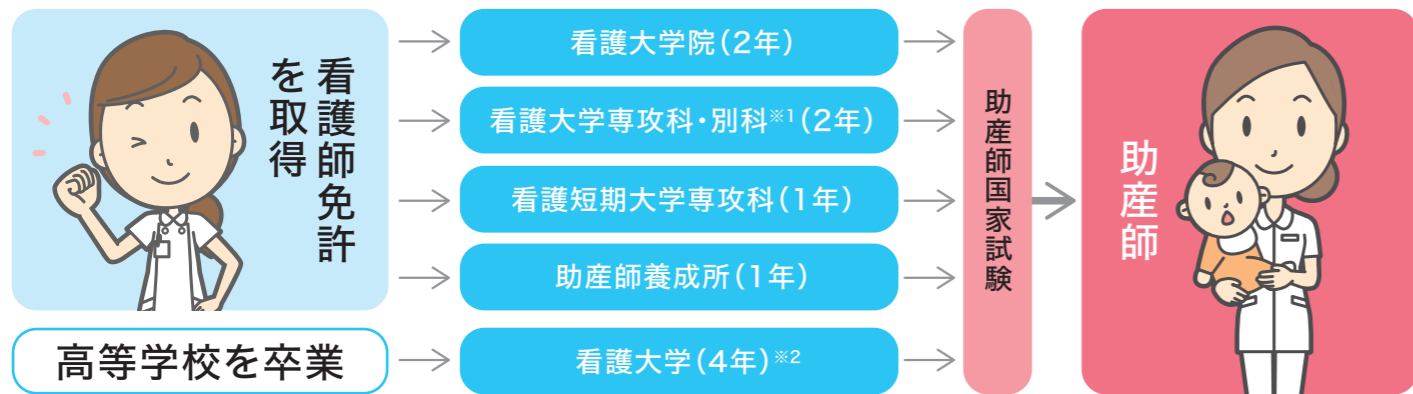
助産師 久賀 美里

当たり前が当たり前でない今だからこそ、妊婦さんとの関わり方が重要になります。入院準備や母親学級など対面で行っていた保健指導をYouTube配信でカバーしたり、元気がなかったら食事を少し豪華にしてもらったり…常に何かできることはないか模索し続けています。



助産師になるには

助産師になるには、国家資格である看護師資格と助産師資格の2つが必要となります。看護師の資格を経た後、大学や短大、養成学校などで1年以上必要な知識などを学ぶことで、助産師国家試験の受験資格が与えられます。また4年制大学の看護部などにある助産師養成課程に進み、卒業見込みとなる年に両方の国家試験を受験・合格することで、卒業後すぐに助産師として働きはじめることも可能です。



※1 大学専攻科の入学資格は、大学卒業者です。
 ※2 保健師・助産師の教育プログラムがある大学では、看護師に加えて保健師・助産師の国家試験受験資格を得ることができます。

JA新潟厚生連の分娩取り扱い病院

- 糸魚川総合病院 (糸魚川市)
- 上越総合病院 (上越市)
- 柏崎総合医療センター (柏崎市)
- 小千谷総合病院 (小千谷市)
- 長岡中央総合病院 (長岡市)
- 村上総合病院 (村上市)
- 佐渡総合病院 (佐渡市)

病院のお仕事発見

「助産師」編

女性の心と身体を
きめ細やかにサポート

出産前から出産時、そして出産後に渡り、母子の心身の健康を支える助産師。出産前は、妊娠期間の生活や健康の指導はもちろん、父母になる心構えを伝え、出産に関する不安や悩みなどにも寄り添います。出産時には、お産を助け、赤ちゃんを取り上げる分娩介助。出産後は、母子の体調管理から母乳指導、退院後の生活や育児に関するアドバイスなども行い、新しい生命を迎えた家族が安心して暮らせるように、きめ細やかにサポートしてくれます。

さらに妊娠・出産時だけではなく、思春期の悩みや性教育、更年期の症状、老年期の健康問題など、女性の一生に関わる心と身体

生命の誕生に深く携わる、助産師。妊娠、出産、育児、更年期：女性の一生を支え、ケアする専門職です。

のケアなども助産師の仕事の一部なのです。

心に寄り添う
コロナ禍での取り組み

コロナ禍となり、2年以上。厚生労働省が発表した2021年の出生数は、6年連続で過去最少の約82万人でした。長岡中央総合病院も例外ではなく、出生数は大幅に減少。対面での保健指導や母親学級の開催が困難となり、面会や立ち合い出産も叶わない状況だといえます。「映像配信や食事の工夫などを取り入れながら、気づきを大切に、今まで以上に心と身体に寄り添うよう心掛けています」と久賀美里助産師。出産の不安を笑顔へと導いてくれる、温かく力強い体制が整っています。

助産師の主な仕事内容

- **分娩介助**
破水や陣痛の間隔、血圧、体温などをチェックしながら、いきみ方や呼吸法の指導を行い、出産が安全にスムーズに進むようにサポートします。正常分娩であれば医師の指示を必要とせず、自身の判断で介助ができます。
- **保健指導**
産前産後(産褥期)の出産前から産褥期(出産から6～8週間)、1カ月健診に至るまで、母子の健康状態を把握。医師などと連携しながら、正常な分娩が行えるように支援します。また、院内や自治体での母親学級も保健指導の一環です。
- **新生児ケア**
出産直後の呼吸を促したり、へその緒を切断したり、身長や体重の測定も行います。赤ちゃんが子宮外の生活に慣れていけるように、栄養管理や体温調節、皮膚状態、呼吸観察などを中心に、サポートしていきます。

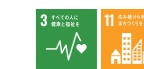
資格取得後のキャリアプラン アドバンス助産師

2015年からはじまった、一般財団法人日本助産評価機構「CLOCMiP(クリニカルラダー)レベルⅢ認証制度」の認証を受けた助産師を「アドバンス助産師」と呼びます。これは、更新制度のない助産師資格において、助産実践能力を客観的に審査する仕組みです。所属施設の看護部長による承認を必要とし、書類審査、本試験を通過してはじめて、アドバンス助産師の認証が得られるのです。



長岡中央総合病院 アドバンス助産師 ヨシダ ヤスコ 吉田 康子

※撮影時のみマスクを外しています。



SDGsに関連する取り組みとしてロゴマークを表記しております。



長岡中央総合病院
アドバンス助産師 吉田 康子

2008年看護師免許取得、2009年助産師免許取得後、JA新潟厚生連長岡中央総合病院産婦人科病棟に勤務。2015年アドバンス助産師に認証され、2020年認証を更新。2021年10月からは新生児治療室に勤務。



上越総合病院
助産師 小林 由佳

厚生連職員のための奨学金制度で、看護師から助産師への夢を実現！

曾祖母が産婆だったことから、幼い頃から憧れを抱いていました。看護学校時代のお産の見学で、生命の誕生とそれに寄り添う助産師の姿を目の当たりにしたのも大きかったです。看護師として産科病棟に4年間勤務している中で、お産に関する知識不足を痛感。JA新潟厚生連の奨学金制度と就職支援というバックアップもあり、1年間の休職を経て、安心して資格を取得できました。助産師は、2つの生命を預かる責任の重い、瞬時に適切な判断が求められる仕事です。未熟な部分を少しでも補い、頼りにされる助産師を目指します。

後、助産師資格を取得し、現在は外来で妊婦健診を中心に行っています。助産師としてキャリアを積むに連れ、本当に女性の一生に携わる仕事だと実感。患者さんの中には、女性特有の症状で悩んでいるながらも、受診を躊躇したり、我慢したり。そういう女性を支援したいと、平日頃から声掛けと気づきを大切に行っています。受診や相談、指導を通して出会えたことで、少しでも良い方向に進んでくれたらと願っています。

佐渡総合病院
助産師 伊藤 久美子

声掛けと気づきを大切に。助産師資格を生かしてお産に限らず幅広い世代を支える。

新人看護師時代に配属されたのが、産婦人科病棟。そこで感じたのは、看護師では内診ができない、もっとお産をサポートしたいという思いでした。そ



助産師としてさらにキャリアアップ！
深い知識と確かな技術を生かして
新生児治療室で母児に寄り添う。

感動から決意！
女性にしかできない仕事

中学生の時、性教育の授業の一環でお産の映像を観たのです。私はこうやって生まれてきたんだと純粹に感動して。この瞬間に携わるにはどうしたらいいのかを考え、調べた結果、助産師に行きつきました。人でないと携われず、女性でないとできない。妊娠や出産の場面だけではなく、人の一生、「生命」の部分で関われる仕事だと考えます。

助産師全員が指導者！
行き届いた教育システム

長岡中央総合病院に勤務して13年。新人時代、先輩方から手厚く助産師業務を指導をしていただいたのをよく覚えています。その当時は、マンツーマンという形だったのですが、今は全員が指導者。病棟全体で情報を共有しな

がら、目標や段階を設定していただきます。安心して知識や技術が身につけられるのはもちろんですが、指導している私たちも改めて気づかされることがあります。

またここで産みたい！
頼られ、印象に残る助産師へ

現在、24時間体制の新生児治療室を担当しているのですが、今まで以上にお母さん方のケアが必要だなと感じています。治療が必要な赤ちゃんとは母子分離の状態が多く、母乳をあげたり、抱いたりできるごく当たり前の時間が限られます。表情を見逃さず、心配事を引き出し、共有できるように心がけています。私自身も出産経験者。知識を押し付けるのではなく、困ったときに私の顔が浮かび、またここで産みたいと思ってもらえるような存在でありたいと考えます。

※撮影時のみマスクを外しています。

インタビュー 私は、助産師の仕事が大好きです！

オンライン母親学級で出産準備をしましょう!

助産師
トピックス

～上越総合病院の取り組み～



妊婦さんに寄り添う新しい母親学級

「通常のお産ができずに不安を抱える妊婦さんに寄り添い、少しでも不安を和らげたい」と上越総合病院の助産師チームが始めたのが、出産前のオンライン母親学級です。

参加者は画面上に集合し、お産の流れや病院の施設紹介をまとめた動画を一緒に視聴。質問コーナーでは心配事などをじっくり話してもらいます。

オンラインでおこなう新時代の母親学級。産後の授乳編など様々な内容も、どんどん充実させていく予定です。

※2021年3月発行Vol.27より再掲



自宅から気軽にアクセス。
もちろん夫婦で参加もOKです



入院生活をイメージできる動画。
病院職員が撮影・編集しました

JA新潟厚生連の採用サイトでは、
助産師のお仕事を紹介しています!
[採用サイトURL]
<https://www.niigata-kouseiren.or.jp/saiyo/>



詳しくは
こちらから
ご覧いただけ
ます



JA新潟厚生連には助産師になるための 奨学金制度があります



奨学金制度のご案内
パンフレットがあります

【看護専門学校から進学・編入する場合】

- 対象者: 助産師学校に進学または助産師資格取得のため看護大学に編入学し、卒業後に助産師として本会が運営する病院に勤務できる方
- 金額: 1カ月10万円
- 返済について: 本会運営の病院に3年間継続勤務した場合は、返済を免除します。

詳しくはこちら
から
ご覧いただけます



詳しくは
こちらから
ご覧いただけ
ます



また、看護師からのキャリアアップも支援しています。

次号は「臨床工学技士」編です! >>>>>>>>>>

助産師からバトンを受け取りました
「臨床工学技士」です。臨床工学技士の
仕事についての話題をお届けします。
どうぞご期待ください!

※撮影時のみマスクを外しています。

